



4



2

1



3

【写真説明】1. 海岸の石を利用してファイアピット（たき火台）を自作／2. 担当者が海洋ごみについて説明／3. 大人の手を借りながら子どもたちは楽しくまき割り／4. 町のケーキ屋「あんさんく」の手作りシロップを使ったかき氷。疲れた体にシロップと練乳の甘さがしみ渡る／5. 津奈木の青い海をSUPで冒険／6. 約1時間にわたりごみを拾い、海の環境保全について考えた



5

6



6



【フोटレポート】三ツ島ビーチクリーンプロジェクト 拾えばまちが好きになる。

元気だけん！ くまモン県プロジェクト

公式サイトやSNSなどでこれまでの取り組みを紹介。詳しくは下のQRコードを読み取ってください。



7月24日(土)、津奈木町活性化推進委員会主催で「三ツ島ビーチクリーンプロジェクト」が開かれ、約50人が三ツ島海水浴場を清掃しました。令和元年12月から始まったこの企画は、自然の楽しさや大切さを学び、イベントや活動を通して地域活性化につなげる取り組みを進めています。今回は、オールトヨタ社員で結成する「元気隊」が駆けつけ、ボランティア活動をお手伝い。子どもたちと一緒にまき割りやSUP体験などを楽しみました。斧でまきを割るのが初めての子どもたちばかりで、恐る恐る斧を振りますが、見事に丸太が割れて満足気な表情を見せていました。SUPも初めての人が多かったのですが、大きなボードに乗り込み、夏の海を楽しんでいるようでした。